

株式会社 Stayway

所在地 大阪市中央区本町 4-2-12  
野村不動産御堂筋本町ビル 8F (大阪本店)  
URL <https://stayway.co.jp/>

## 補助金提案や支援をまとめて効率化 補助金対応 DX サービス「補助金クラウド」

顧客への情報提供から相談対応、申請支援まで一気通貫でサポートし、同時に中小企業向けデジタルサービスの立ち上げが可能なクラウド型補助金・助成金対応支援サービス。通常 20 時間かかるといわれる補助金の申請書類の作成を、同サービス搭載の生成 AI を活用することにより 12 分で作成可能。補助金の構造上の課題を解決し、全国の中小企業が補助金を通じて、公平に成長機会を持てる社会の実現を目指す。

### 会社概要

【Stayway 代表・佐藤淳】

#### ◆ 事業概要

株式会社 Stayway は 2017 年に設立された会社で、補助金クラウド事業や DX 推進事業を行っている。創業当初はオンライン旅行事業を行っていた同社は、2020 年新型コロナウイルスの影響により、事業規模を縮小。補助金獲得のために動く中、実際に感じた課題を解決するため、新たに補助金申請をサポートするサービスをスタートした。

同社のサービスの大きな特徴は、「補助金を申請したい」と考える事業者を直接支援するだけではなく、補助金申請を支援する事業者向けのサービスを展開しているところだ。地域に根付くような形で、中小企業の補助金申請をサポートする金融機関や事業会社、士業、ファンドは少なくない。こうした事業者が抱える課題を解決することで、日本全国約 350 万社もの中小企業・スタートアップへとアプローチしている。

同社が提供するサービスで特に注目されているのは、生成 AI のテクノロジーを活用した「補助金クラウド powered by GPT-4」だ。煩雑になりがちな補助金申請のための書類作成を、生成 AI がサポート。業務効率化をサポートしている。

またもう一つ画期的なのが、補助金の前払いサービスである。後払いが基本の補助金を、メガバンクと提携し債権買取による先払いシステムを構築した。補助金が支払われるまでの時間を約 1 年前倒しできる。

大阪以外にも、すでに東京・名古屋・福岡に事業所を持ち、2024 年は広島での設立も予定している。



### 特徴・強み

#### ◆ ビジネスモデルの特徴と企業の強み

株式会社 Stayway は、主に BtoB でサービスを提供。中小企業を直接サポートするのではなく、それらの支援を行う金融機関や士業、事業会社等を主なターゲットとして据えることで、よりインパクトのあるビジネスモデルを展開中だ。クラウドサービス導入のためのインシヤルコストとランニングコストが、同社の利益の 2 本柱となっている。限られた「1 社」のみを相手にするのではなく、「多数の企業と接点を持つ補助金申請の支援側」へとアプローチすることで継続的かつ安定的な利益を生み出している点が特徴的だ。

また、各種サービスを展開するためのテクノロジーも、同社が持つ強みの一つである。生成 AI を活用した「補助金クラウド powered by GPT-4」では、会社の基本情報など必要事項を入力するだけで、自動で文章を作成。従来は 20 時間程度かかっていた申請書類作成業務の基本を、わずか 12 分にまで短縮した。申請

先や地域によって異なるフォーマットに合わせた形で自動入力されるため、業務効率化が可能に。空いた時間で、さらなるブラッシュアップを目指せるというメリットがある。

サービスインからわずか1年ほどで、多くの金融機関、事業会社、土業等にて活用されている。特に関西地方においてその影響力は非常に強く、地銀・信金をはじめとする多くの金融機関と提携している。

### ◆ 強み・アピールポイント

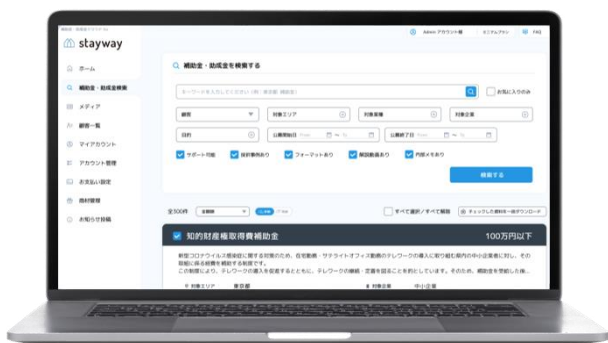
「補助金」は多くの企業が興味・関心を持つトピックであり、そのための支援を行う企業や土業、金融機関は決して少なくはない。こうした状況の中、株式会社 Stayway が持つのは「一気通貫性」という、これまでにない強みである。これまでの支援は「補助金に関する情報提供」「申請書の作成指導」といった、各パートにおけるスポット的な取り組みであった。同社が提供する「補助金クラウドシリーズ」では、情報収集から書類作成までトータルでサポート。ほかにはない取り組みで、競争を寄せ付けない存在感を示している。

また、補助金を支援したい事業者側をサポートすることで、拡張性をアップ。支援者側を支援できる仕組みを提供することで、日本全国の中小企業へとアプローチできる仕組みを整えている点も、非常に大きな強みとなっている。

### 【補助金クラウドのプロダクトイメージ】



### 【補助金クラウドの補助金検索画面】



## 起業に至った経緯

### ◆ 事業にける想い

2020年の新型コロナウイルス以降、補助金申請のためのクラウド事業で頭角を現した株式会社 Stayway。2024年現在、地方攻略のための戦略を重視している。すでに大阪や東京、東海地方などで導入数が伸びている中、そのほかの地域に対して、どうアプローチしていくのが今後の課題だ。各地の金融機関や事業会社、自治体などとの協業も視野に入れつつ、さらなる成長を目指している。

### ◆ 今後の事業展開

株式会社 Stayway は今後、大きく2つの領域で事業を展開していく予定である。1つめは生成AIを活かしたサービスの提供。保守的な姿勢を持つ金融機関に生成AIを導入したという実績をもとに、「補助金申請」というユースケース以外でのサービス提供を目指していく。金融機関のそのほかの領域においても、生成AIを導入しDX化を推進。業務効率化を進めるためのサポートをしようという事業である。

2つめは、行政を対象とした「補助金クラウド for Government」のさらなる普及だ。行政が抱える補助金申請にまつわる課題を解決するためのプラットフォームであり、サービス提供開始からまだ日が浅い。関係各所へと働きかけ、今後さらに浸透させていくことを目標としている。

ほかの会社にはない独自のサービスとテクノロジーで、2024年以降のさらなる成長を目指していく。